



2021 年度
新設

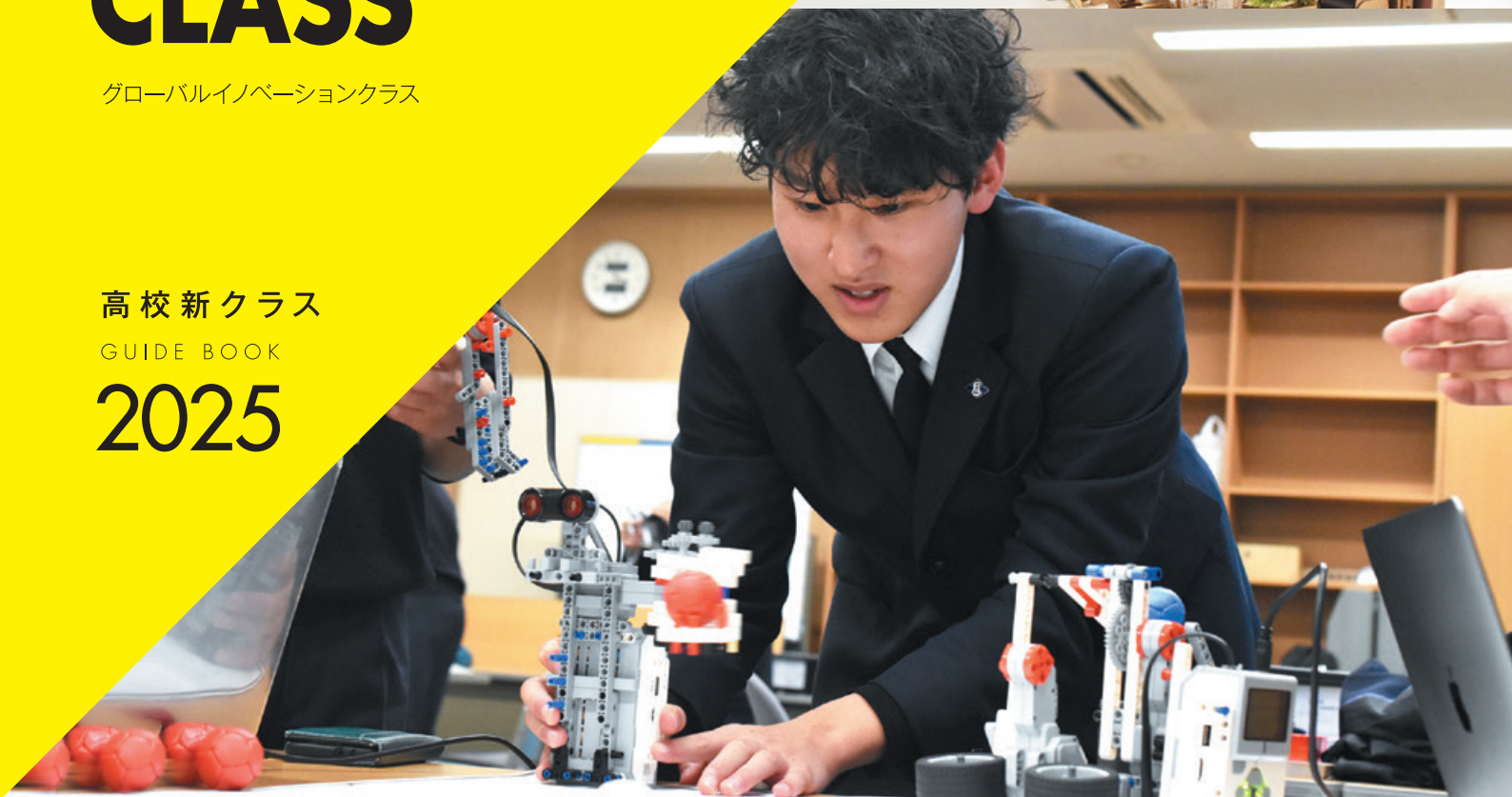
GLOBAL INNOVATION CLASS

グローバルイノベーションクラス

高校新クラス

GUIDE BOOK

2025



聖学院 中学校
高等学校

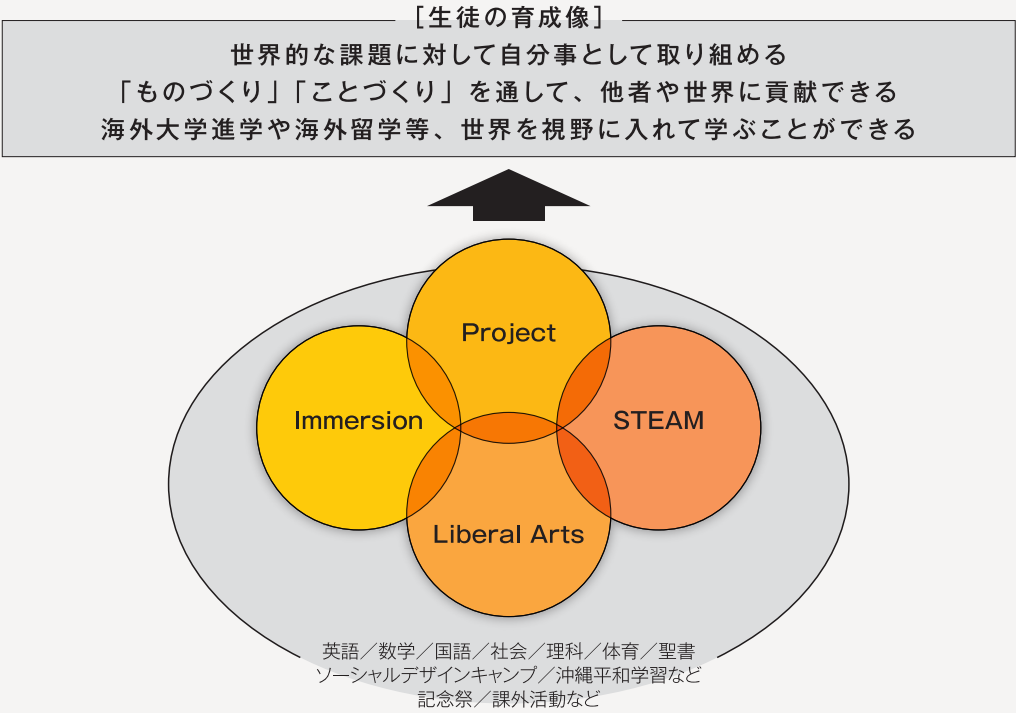
GLOBAL INNOVATION CLASS

「ものづくり」「ことづくり」を通して 世界に貢献できる人を育てるクラス

本校では、これまで探究型教育を、授業・宿泊行事・海外研修等の中に数多く取り入れてまいりました。そのような中で、世界に対して「ものづくり」「ことづくり」を通して貢献できるグローバルインベーターを育成するため、「Global Innovation Class」を設置しました。グローバル課題やSDGsを自分事として理解し、高次の研究力・協働力・創造力を育成するために、「Immersion」「STEAM」「Project」の3つを柱にした教育を展開しています。

また3本柱の土台として、一般教科および「Liberal Arts」を行います。特に「Liberal Arts」では、ロジカルシンキング・クリティカルシンキングなどの力を身につけます。

以上のプロセスを経て、世界的な課題を自分事としてとらえ、「ものづくり」「ことづくり」を通して課題解決～価値創造できる人財を育てます。これは本校の教育理念「Only One for Others」を真に具現化できる人財の育成であり、本校次世代教育の象徴的なクラスになると確信しています。



聖学院の英語授業では「SS コース」を設置（週 6 時間）

同コースでは、ネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業にて、英語でのプレゼンテーション、英字新聞の多読、エッセイの練習などを行っています。英字新聞などを使い、「ソーシャルイシュー」（社会問題）に触れながら、そこで用いられている実践的な単語や表現方法を学びます。次に自分の考えをまとめて意見を述べたり、ディスカッションしたりします。ソーシャルイシューを取り入れることで、内容の濃い議論ができ、単に英語の表現を学ぶことにとどまらない充実した授業となっています。

※英語は習熟度別授業となっており、SSコース、Sコース、Aコースの3コースで展開。
SSコースは英検2級以上取得者が対象です。

●2024 年度 高校 1 年生 GIC の時間割例

	月	火	水	木	金	土
1	聖書	歴史総合	英語C	数学I	数学A	STEAM 情報
2	英語論理表現	英語C	数学I	英語論理表現	数学I	
3	物理基礎	体育	物理基礎	英語C	体育	Project
4	英語C	保健体育	歴史総合	数学A	言語文化	
5	STEAM 美術	Immersion SDGs	言語文化	Liberal Arts	STEAM 理科	
6			LHR			
7			Immersion Competency			

Liberal Arts（週 2 時間）

自己自身の在り方を考えたり、身近な／遠くの他者と主語を一つにして既存の課題を考えたりします。そのためには、まず「これまで身につけてきたもの」つまり、自分の拠り立つシステムや制度、思考やものの見方を客観視し、相対化する必要があります。GIC独自科目の基幹であるLiberal Artsでは、そうした自分から一度「自由=Liberal」になり、次の時代を構想する諸技術や「感性=Arts」を養います。対話（dialogue）をベースに、さまざまなテキストや諸問題を多様な視点や思考の仕方を読み解き、文字から映像まで多様なメディアを駆使した思考のアウトプットを重ねながら、「私たちはどう在るか」を描き出す方法を修得します。

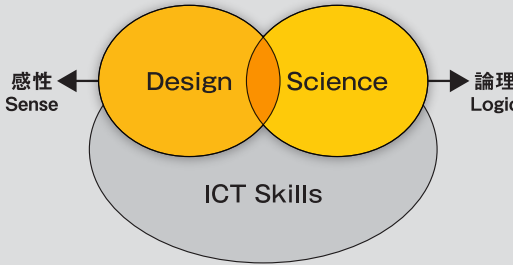
Immersion（週 3 時間）

SDGsを英語で学ぶ授業です。公共・家庭科・保健などの内容を中心に、SDGsを英語で学び、英語でディスカッション・プレゼンテーションをします。そのために必要なグローバルスキルも英語で習得します。異文化におけるコミュニケーション、社会課題に対して英語で議論し、シンキング・ストラテジーやリーダーシップなど6つの重要なスキル・マインドを「英語で」習得するプログラムです。ディスカッション、アクティビティ、プロジェクト、発表を通して、生徒中心の学びを形成します。週6時間の英語授業とは別に週3時間「Immersion」を英語で学ぶため、社会とつなぐツールとしての英語力が身につきます。



STEAM（週 6 時間）

STEAMとは、「科学」「技術」「工学」「芸術」「数学」の5つの頭文字を組み合わせたもので、情報の抽出・分類・比較するスキルや、課題発見・解決に向けた創造・表現のスキルを育てる教育プログラムです。「サイエンス」「デザイン」を軸にICT Skillsを活用しながら「ものづくり」「ことづくり」に必要なツールを学び、論理と感性の両面を大切に創造力を育成します。週6時間の授業は全て探究型授業で構成され、課題解決・価値創造のための問いからスタートします。必要性を感じて知識や思考スキルを習得していきます。



Project（週 2 時間）

ゼミ形式の授業で、国際系・社会系・環境系などのテーマから自分で選びます。その中で、自ら課題を設定し、その課題解決に向けて学内外で連携し、協働・研究活動を行います。その成果発表に向けた準備のための「Project Week」を年に2回設定します。「Project」はGlobal Innovation Classの集大成となる時間です。

●プロジェクト科の構成

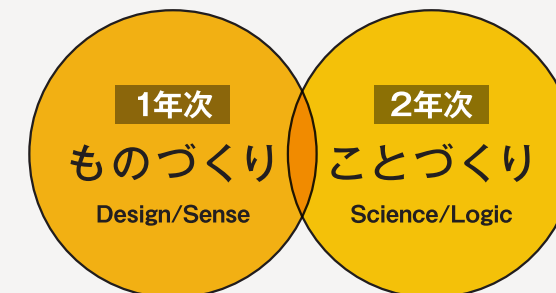
高1	Project①	Project week①	Reflection①
高2	Project②	Project week②	Reflection②
高3	探究論文		



STEAM

STEAM 教育の授業の紹介

理論と感性の両面を大切にした想像力の育成
モノづくり・コトづくりに必要なスキルセット



1年次

ものづくり

画材、色、光、音、空間など
様々な作る体験を通した学び

●授業一覧

想像to植物ハンティング
卵テンペラ絵の具
身の回りのものを楽器に変える
切り絵アート
色のかんかくストレッチ
ボックスアート
映画の予告編を作ろう (Ableton)

音/かたちのかんかくストレッチ
ボックスアート
ハモリケーション
スリットアート
光の対話型鑑賞 (イリュウム)
UoC制作活動
五感を使った空間デザイン



Teacher's view

Global Innovation Class の今後の展望



高校GIC統括長・総務統括部長・教頭
日野田 昌士

高校Global Innovation Classは「ものづくり・ことづくりを通して世界に貢献する」をコンセプトとしており、独自科目「Immersion」「STEAM」「Project」「Liberal Arts」の4つを中心に展開しています。現在、世界では様々な問題が起こっており、地球環境や世界平和を守ることが急務となっています。また、日本国内では少子高齢化がすすみ、経済停滞・地方消滅など、課題先進国として解決しなくてはならないことが山積みとなっています。そのような課題を解決し、明るい未来の世界をつくっていく主役は今の若者たちです。これからの世界を制作していく若者たちにとって、かけがえのない原体験を提供し、世界の現場で生き抜いていくためのグローバルマインドやスキルを身につけるための教育を行っています。また、ものづくり・ことづくりに必要なスキルやツールを学び、世界の誰かに貢献できる優しい自立した挑戦者を育成するために、数多くの教育機会や教育環境を整えています。実際の高校GICの生徒プロジェクトでは、北区志茂四丁目の町会と連携し、オンライン防災ワークショップを実施し、高齢者のための防災啓蒙活動を行っている生徒がいたり、様々な社会貢献プロジェクトが生み出されています。

2年次

ことづくり

理科、数学、情報を通して、
科学的手法とデータ分析を
身につける学び

< 理科 >

科学的思考と探究作法 身近なエネルギー探究

●授業一覧
科学的思考と科学的探究作法
エネルギーとは
〇〇〇からエネルギーを取り出す
身近なエネルギーを知る
Eco-Denで学ぶ
身近なところから変える
プレゼン

< 数学 >

データ分析の スキル習得

●授業一覧
データ分析の基本
スプレッドシートの使い方
代表値
標準偏差
相関
回帰分析
RESASコンテストへ

< 情報 >

地域魅力化 データサイエンス

●授業一覧
地域の現状把握
問いを立てる
仮説を考える
仮説の検証
解決策の事例調査
解決策の企画立案
プレゼン準備
地域魅力化プレゼン



IMMERSION

Immersion の授業の紹介

英語で社会科（公共）を学ぶ

社会科の教員とネイティブ教員が担当し、海外のテキストを用いて英語でSDGsを学びます。授業では、学んだ内容に基づきサステナブルな街をデザインしてプレゼンしたり、架空の国を支援するプランを考えるなど、英語でアウトプットします。学年末には、1年間のリフレクションとして、3ページほどのエッセイを英語で書きました。



英語で家庭科を学ぶ

「世界のどこへ行っても生活する力を身につける」を目的に、持続可能な生活や環境、文化を考え、自分達の考えを英語でアウトプットしていく授業を展開しています。「食を通して海外の国・地域や異文化を知る」「食と環境や健康の関係を考える」といった、グローバルな視点を養い、自分の意見を英語でアウトプットしていきます。ほかにも、世界各地のコミュニティや家庭のあり方、フェアトレードや世界で生きていくための生活経済について学んでいきます。



英語で保健を学ぶ

外国人講師と保健体育科教諭のチームティーチングによる「All English」の保健の授業。「lifeskills」「sports」「gender」「health&body」を基本テーマに、日本の教科書の枠から飛び出して「世界中の誰もが幸せに生きるためには」という問いに立ち向かいます。ペアワークや定期的なグループプレゼンテーションを通して、「アウトプットこそ最大の学び」を実践しています。また、ドイツ発祥のライフキネティックというエクササイズメソッドを導入して、脳も体もシャープに研ぎ澄まされる授業です。



PROJECT

実施例の紹介

●現在進行中のプロジェクト

※以下のプロジェクトは常設ではありません。生徒の成長により目的を果たし、終了するものもあります。

宗教・文化

●目標:聖書の思考方法を探究することで「神を仰ぎ 人に仕う」「Only One for Others」を体現する聖人を育成する。

【内容】キリスト教精神や宗教的な理念によって運営されている企業や団体の活動を研究・調査し、理論と実践について学ぶ。「自分とは何か」という永遠の問いに挑む。聖書の文化を理解し、現代社会への適用や融合を考え、文化的な軋轢に対して行動する。

貧困 vs 起業

●目標:自分の限界を知り、一方で自分の限界の裾野を広げる小さな成功体験を積み上げ、創造社会を生きていく人財を目指す。

【内容】まず国内で、起業に必要な知識と経験を積み、資金を集め、商品をつくり、販売ルートを開く。将来的にはタイでも起業する。そしてその事業をタイの人たちに引き継いでもらう。これが現実の貧困問題に立ち向かうことに繋がるかどうかを検証する。

生活環境

●目標:生活・社会・環境課題を発見でき、私たちができる課題解決アクションや啓蒙活動を考案・実践・研究し、循環・共生社会実現を目指す人材を育成する。

【内容】生活に課題を抱える高齢者・子育て世代・外国人などの地域住民の生活がより豊かで幸せになるために、また持続可能な社会に向けた資源活用や環境保全のための生活を送るために、私たちができる課題解決アクションや啓蒙活動を考案し、実践・研究する。

哲学・メディア・芸術

●目標:自己の内発的動機や、今ある世界への違和感から問いを「哲学」し、探究し、自己の外へ開く手段である「メディア」を求め、世界にまだない何かを創り出す「芸術」をする。

【内容】世界を知り、自己の一人称視点、自身の位置、文脈を俯瞰し、相対化する。そのうえで、自分自身として問う。その問いを自身の研究や活動、対話によって広げ、深める。それを表現するためのメディアを探し、表現や創作を試みる。そうして当事者として〈在り方〉を表明することで、生きる世界の構造変革を目指す。

新ゼミ※

●目標:自由闊達にして愉快なる価値創造を目指す。

※2024年度新設のため名称はまだありません。

【内容】テクノロジーによって加速度的に変化していく現代。誰もがあらゆるものをデザインできる環境。その中で、「暫定的な正解」を模索し、実験や挑戦を経て、失敗から学ぶ姿勢を育む。

Student's view

プロジェクトを通して、将来やりたいことが見つかりました



2年
原田 剣之介くん

GICのプロジェクトにおいて「親子カルタ」というゲームを作っています。このカルタは、家事や育児の疲れを数値化し、親子で楽しみながら共有することを目的としています。普段、子どもが親に「今日どんな仕事をしたの?」と尋ねることはほとんどありません。親の日常やその大変さを知ることがコミュニケーションの第一歩だと思っています。このゲームを通じて親子間での家事や育児に関する理解を深め、会話を豊かにしたいです。このプロジェクトの過程で、板橋区役所が夫婦間のコミュニケーション向上を目的として作成したカードゲームを参考にしました。その際、自ら区役所に趣旨説明をし、理解を得て、カードゲームのレクチャーを受ける段取りを組みました。一人で学外の組織と交渉したとても貴重な経験でした。将来は子どもたちに多様な体験を提供する学童施設を作りたいと思っています。

GICでの学びが、多様な職業への興味につながりました



2年(高入生)
高橋ロバート栄太朗くん

GICでグループワークやゼミ、調べ学習を経験するうちに、起業やビジネスに興味を持つようになりました。特にリベラルアーツを通してビジネスがより身近になりました。リベラルアーツでは、社会問題に対する解決策をグループで話し合って動画にする授業があり、「この社会問題を解決できる職業にはどのようなものがあるんだろう」と考えたり調べたことがきっかけで様々な職業に興味がわきました。またゼミにおいては、日本在住外国人を支援するプロジェクトに参加しています。僕の父がアメリカ人ということもあり英語は日常的に使っているので、プロジェクトのワークショップでは英語と日本語の通訳も経験しました。小さい頃から通訳者になりたいと思っていたので、改めて通訳者を目指すきっかけにもなりました。なりたい職業の選択肢が大幅に増えたことが、GICに入って一番良かったことです。

先輩、後輩、さらには保護者まで手助けしてくれる学校です



3年(高入生)
三根 稔雄希くん

僕は「子育て」をテーマとしたプロジェクトに参加しています。1年目は規格外野菜を使った離乳食作りを企画しました。大きさや形が異なっているという理由で廃棄されてしまう野菜を使うことでフードロスを軽減しつつ、離乳食の食材費も抑えるという取り組みです。2年目は母親の育児負担そのものを対象とし、父親の育児参加を促す企画を考えました。もっと父親が育児に関わるためにはまずコミュニケーションが必要だという視点から、お互いの悩み事を書いたババ抜きをするコミュニケーションツールを作りました。

プロジェクトを実現するためにはいつも多くの人に助けってもらっています。特に1年目は栄養士さん、農家をやっている後輩のご両親。そして、それらの人たちを紹介してくれた先生や先輩、後輩。保護者まで含めたいろいろな人が積極的に関わってくれる、こういうところが聖学院らしいと思います。

2019～2024年度合格実績（聖学院高校全体）

海外大学

Art Center College of Design
Asia Pacific University of Technology & Innovation
Augsburg College
Augustana College
Boston University
Carleton College
Fordham University
Grinnell College
Hope College
Lake Forest College
Lycoming College
Miami Ohio University
North Central College
Ohio Wesleyan College
Syracuse University

SUNY* Cortland
Temple University
City University of New York
University of Southern California
University of Pennsylvania
University of Washington
University of California, Davis
University of California, San Diego
University of British Columbia
University of Toronto
Griffith University
Monash University
北京外国語大
国立成功大学
逢甲大学

義守大学
国立中央大学
国立台湾師範大学
中原大學
輔仁大学
東呉大学
世新大学
国立中山大学
東海大学
実践大学
国立中興大学
中國文化大学
中国医薬大学/薬
国立嘉義大学
他

※SUNY:State University of New York

**1 GICに入ろうと思った理由、きっかけ、
魅力に感じたことなどを教えてください**

西 大河 くん

中3の時にバラスポーツPJに初めて参加した際に「自分も人の役に立てる」という実感
と新しい時間の費やし方や意義を見出せたの
で、興味関心分野の模索や行動範囲を広げ
るために決めました。

**2 STEAMの授業では
どういったことをやりましたか？**

樋原 颯 くん

ScienceではAI画像生成やプログラミング、
統計データ取得のために様々な実験と考察
を行いました。Designでは卵テンペラ絵具
や色のかんかくストレッチ、レーザーカッター
で作品作り、等から技術を学び、ものづくりに
必要な感性や創造力を養いました。ICTでは
Googleスプレッドシートで情報の分析や整
理を行いました。

**3 STEAMの授業の中では
どの授業が好きでしたか？**

中島 康生 くん

Googleスプレッドシートで関数を学ぶのが好
きでした。今試している関数が自分の研究に
どういったら利用できるか、逆に公開されて
いるデータを使うとどんな分析に応用できる
のか、等と考えるのが楽しかったです。

**4 Immersionの授業では
どういったことをやりましたか？**

鈴木 康生 くん

SDGsは原則英語です。社会問題の説明を聞
いた後にワークを行いました。サーセキュ
ラーエコノミーについて考えたり、ゲスト
ティーチャーに授業をして頂いたり、様々な
方法で社会問題を知りディスカッションしまし
た。ネイティブの先生の手厚い英語のサポー
トも魅力でした。



神田 瑠偉 くん

Competencyでは性別や差別など、現在の
センシティブな話題を真剣に議論し、互いに
発表し合う授業を行いました。教科書のような
定型文ではなく、日常的に使用する英語を
先生から聞けることが面白かったです。

**5 3年間のGICで成長を感じたところは
どんなところですか？**

中島 康生 くん

「思考力」と「市民性」です。「考え方の考え
方」を獲得できました。また地球に生きる一人
として、既存のパッケージ化された「イイ社
会」を何となく目指すのではなく、真に市民と
して生き「より良い社会を作るためには？」と
考え理解を深めるきっかけにもなりました。

**6 在籍期間中に
どんな社会課題に取り組みましたか？**

神田 敦喜 くん

環境に優しい自動車を作るために、デザイン
の制約が強くなる傾向において、デザインの
幅を知り、環境への配慮とデザインの整合性
をどう高めていくか、について取り組みました。

**7 クラスメイトには
どんな生徒がいましたか？**

青山 泰三 くん

英語、ICTやSDGsなどに興味を持ち取り組
んでいました。自分を持っている人が一定数
おり、権力には抵抗的な集団でもありました。
聖学院は言葉では言い表せない「聖学院らし
さ」な雰囲気があり、学校生活によって更に
“らしさ”を増して濃くなっていく。そんな仲間
から受けた影響はとてつもなく、表す言葉が
見つかりません。

**8 聖学院の先生で印象に残っているのは
どんな先生ですか？**

青山 泰三 くん

校長先生、JK先生、YT先生。いずれの先生
も一人ひとり派手な個性がありながら、それら
全てに筋が通っていました。また「勉強」の質
は大変高いですが、それ以上にこれからを生
きる上での人間性の構築などを熱心に教えて
くださり、また自分たち自身に考えさせるス
タイルの先生方でした。

**9 将来もしくは今後の予定について
教えてください**

神田 敦喜 くん

日本人の感性を大事にしたカーデザインを世
界に向けて発信できるようなデザイナーにな
りたいです。そして常に感謝を忘れない人
でありたいです。



[高等学校]帰国生入試 募集要項

	A方式	B方式
試験日	2025年 1月22日 (水)	
出願期間	2025年 1月15日 (水) 9:00 → 1月20日 (月) 16:00	
試験科目	英語筆記＋面接 (英語・日本語)	英語＋思考力＋面接 (日本語)
募集人員	5名	
合格発表	HP 当日 20:00～	
合格判定	Global Innovation Class	
入学金支払期限	2025年 2月17日 (月) 17:00	

時間配分	受付 8:20～8:35	
	1時間目 英語 ※英検2級～準1級レベル 8:50～9:50 (60分)	1時間目 英語 ※英検3級～準2級レベル 8:50～9:50 (60分)
	2時間目 英語面接 10:05～ (20分程度)	2時間目 思考力 10:05～11:35 (90分)
	日本語面接 (10分程度)	3時間目 日本語面接 11:50～ (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願資格

- ①2025年3月に中学校卒業 (卒業見込) または同等の学力を有する男子。
②原則として海外在住期間が1年以上、帰国後3年以内 (現海外在住者を含む。)
※上記に準ずる海外在住経験等の条件を配慮いたします。事前にご相談ください。
※ご家庭の宗教によって入学資格・試験などの基準を制限することはありません。
③本校の教育理念に賛同する者

●受験料 24,000円

●必要な書類

提出書類	①調査書 a. 日本人学校及び国内の公私立学校在籍者は公立高校用のものを使用 b. 海外の現地校及びインターナショナルスクールの在籍者は在籍校からの成績レポートを提出 ②海外在留証明書 (保護者勤務先発行)
提出期限	2025年1月20日 (月) 必着
提出方法	以下①②のいずれかを選択 ①簡易書留 ②メール (アドレス shiken@seigakuin.ed.jp) ②の場合は件名に【出願者氏名】【受験番号】を明記の上、添付して送信

●窓口問い合わせ時間

月～土 9:00～16:30 (日曜・祝日 その他学校の定める休校日を除く。)

\ GICに興味を持っている中学生に一言! /

チャンスは自分から掴むものだ。自分
が納得できる選択をしてください。

「何か新しいものに挑戦してみたい!」「自分にはどんなことができるか探したい」と考えてい
る人は是非! きっと自分の人生を変えるきっかけとなる先生や友達に出会えると思います。

[高等学校] 推薦入試 募集要項

試験日	2025年 1月22日 (水)
出願期間	2025年 1月16日 (木) 9:00 → 1月20日 (月) 16:00
試験科目	適性検査 (2科) + 面接 適性検査 (英語・思考力) / 面接
募集人員	5名
合格発表	HP 当日 20:00~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き支払期限	2月10日 (月) 17:00
時間配分	受付 8:30~8:45
	適性 (英語) ※英検3級~準2級レベル (60分程度)
	適性 (思考力) (90分程度)
	面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

●出願基準

- ①2025年3月に中学校卒業見込の生徒。本校の教育理念に賛同する者。
②内申点の合計が3教科 (英数国) で11以上、かつ5教科全てにおいて2以下がないこと。
③2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
④英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う。
 (TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)
⑤推薦入試希望者は、2024年12月16日 (月) 以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書 (公立高校出願用)
提出期限	2025年1月20日 (月) 必着
提出方法	簡易書留

●窓口問い合わせ時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日を除く。

[高等学校] 一般入試 募集要項

試験日	2025年 2月11日 (火・祝)
出願期間	2025年 1月25日 (土) 9:00 → 2月7日 (金) 16:00
試験科目	英語+思考力+面接
募集人員	10名 (併願優遇措置5名)
合格発表	HP 当日 20:00~
合格判定	Global Innovation Class
入学手続き支払期限	2月15日 (土) 17:00 (公立高校受験者を除く)
時間配分	受付 8:30~8:45
	1時間目 英語 ※英検3級~準2級レベル (60分)
	2時間目 思考力 (90分)
	3時間目 面接 (20分程度)

●出願方法

インターネット出願

※公立高校受験者で入学手続き延期を希望される方は、本校所定の「入学手続き延期願」を提出の上、出願してください。

●出願基準

- ①2025年3月に中学校卒業見込の生徒。本校の教育理念に賛同する者。

●併願優遇措置希望の方

- ①内申点の合計が3教科 (英数国) で12以上、または5教科で20以上かつ2以下がないこと。
②2学期制の場合は後期中間まで、3学期制の場合は第2学期までの成績で上記の要件を満たしていること。
③英検準2級は+1点、英検2級は+2点、英検準1級以上は+3点の加点を行う。
 (TOEFL等のテストも加点しますのでご相談ください)
④併願優遇措置希望者は、2024年12月16日 (月) 以降に学校間による「入試相談」を要する。

●受験料 25,000円

●必要な書類

提出書類	調査書 (公立高校出願用)
提出期限	2025年2月8日 (土) 必着
提出方法	簡易書留

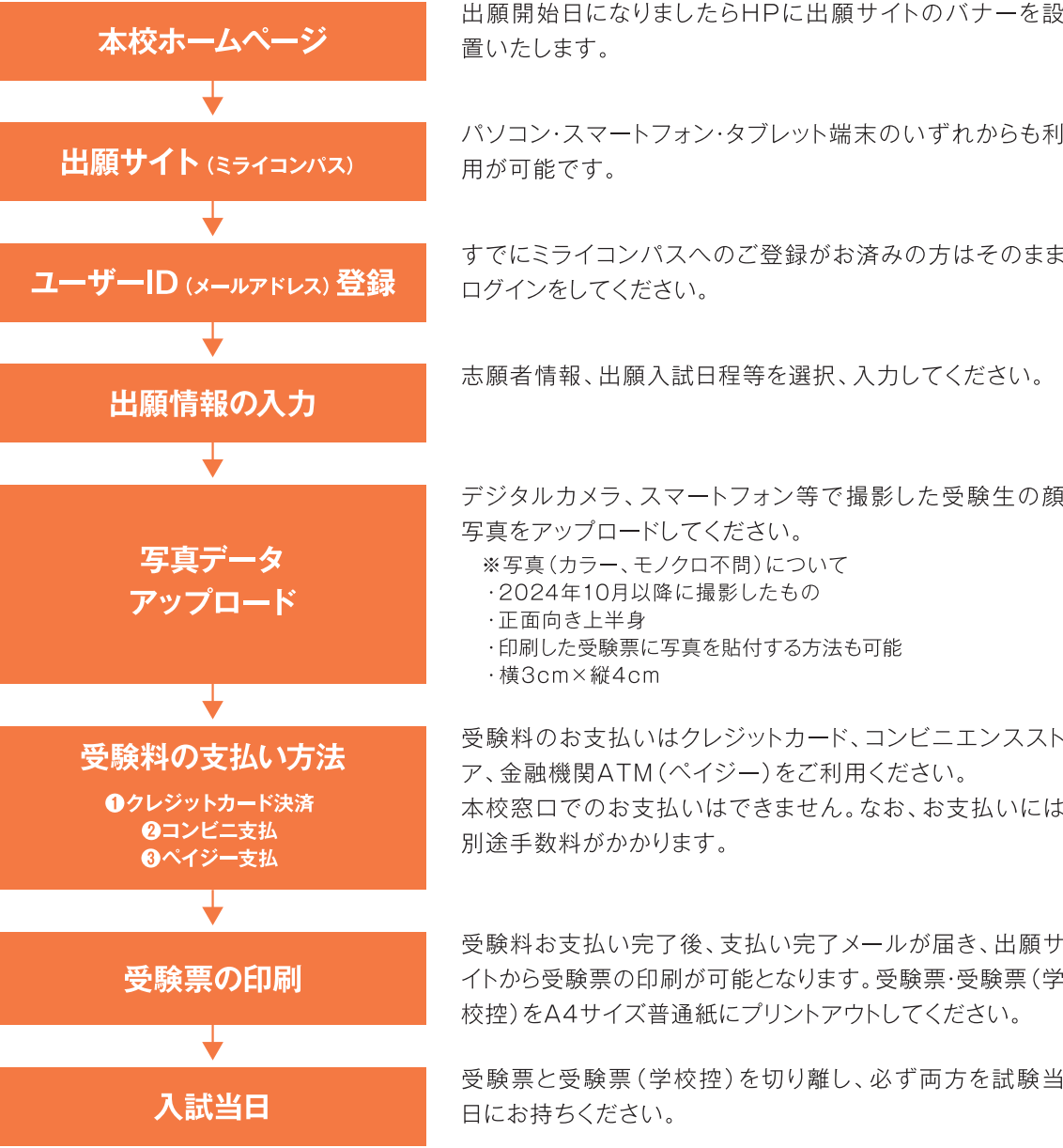
●窓口問い合わせ時間

月~土 9:00~16:30 ※日曜・祝日 その他学校の定める休校日を除く。

インターネット出願について

- 本校窓口や郵送による出願は行っておりません。
- 期間中は平日・土日・祝日24時間手続きが可能です。
- 各種クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーでのお支払いが選べます。
- 受験料お支払い後の出願内容の訂正、取り消し、返金は一切できませんのでご注意ください。

出願手続きの方法



左記QRコードのサイトから詳細な手順確認ができます。
<https://www.mirai-compass.jp.net/nygk/>

試験当日

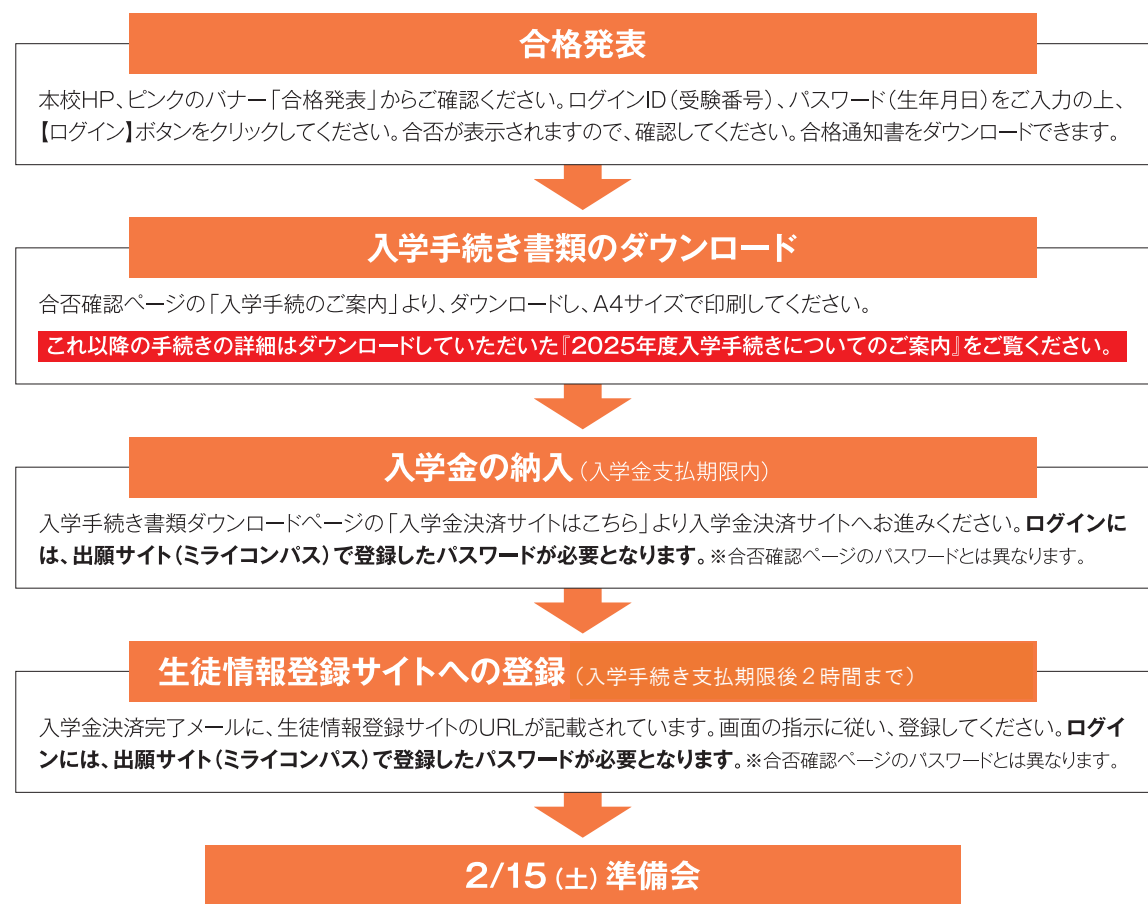
持ち物
☐ 受験票と受験票(学校控え) ☐ 筆記用具 ☐ うわばき ☐ くつ袋
受験上の注意
●受験生はアナウンスの指示に従い、試験会場へ移動してください。 ●試験開始より15分までは遅刻入場可能です。但し、時間の延長はありません。 ●携帯電話、スマートフォン、通信機能付き時計等は電源を切り、カバンから出さないでください。 ●面接の終了時間は、順番によって変わります。 ●試験中にトイレへ行きたいときは、試験監督に手を上げて申し出てください。但し、試験時間の延長はありません。 ●試験中に体調不良になったときも、試験監督に手を上げて申し出てください。
保護者の方へ
●試験終了後は、当日指定された場所で受験生と合流してお帰りください。 ●駐車場はございません。お車でのお来校やお迎えはお控えください。公共交通機関でのご来校をお願いします。 ●試験中の保護者控室は、当日ご案内いたします。ご飲食をされる場合は会場の使用上の注意事項遵守にご協力ください。 ●ゴミは各自お持ち帰りください。
震災時の対応
●基本的な震災対応については本校HPでお知らせします。 ●地震によって電車で遅延が発生した場合は、試験の時間等を変更して対応する場合があります。 ●首都圏の交通機関等が大きく混乱した場合、東京と神奈川の私立学校との事前協定の通り、入試を全て中止し、終日試験日を繰り下げて実施します。

合否確認

本校HP、ピンクのバナー「合格発表」から合否照会サイトにログインID:受験番号4ケタ、パスワード:生年月日8ケタをご入力の上[ログイン]ボタンをクリックしてください。

- ※ミライコンパス出願サイトのIDとパスワードとは異なりますのでご注意ください。
- ※受験番号の「0」は省略せずに入力してください。
- ※誕生日が1ケタの場合は0を前につけてください。
- ※当日の状況により発表時間が遅れる場合があります。
- ※発表直後はアクセスが集中するため、一時的に接続しづらくなる場合があります。その際には少し時間をおいてから再度アクセスしてください。
- ※お電話でのお問い合わせには一切お答えできません。ご了承ください。

合格発表後の手続き手順



諸費用

入学手続き時	入学金	250,000円
	施設費	125,000円
	小計	375,000円
月額	授業料	37,000円
	施設拡充費	4,000円
	PTA会費特別会費	10,000円
	積立金・学年費(預り金)※	12,500円
	GIC費	7,000円
	小計	70,500円
毎年4月に発生する費用	PTA会費	7,200円
	生徒会費	7,700円
	後援会費	18,400円
	小計	33,300円

聖学院教育振興資金について

入学手続き時に1口100,000円、2口以上にご協力をいただけますと幸いです。(任意)

※積立金・学年費(預り金)について

副教材・模擬試験・文集作成・体験学習(教育旅行等)費・卒業対策費等が含まれます。変更になる場合もあります。

Global Innovation Classに関するQ&A

Q GICとレギュラー・アドバンストクラスとの違いは何ですか？

グローバルイノベーションクラス独自の科目が週13コマあります。イマージョン(3コマ)・STEAM(6コマ)・リベラルアーツ(2コマ)・プロジェクト(2コマ)の4科目で、探究型授業となります。残りの22コマはレギュラー・アドバンストクラスと同内容の授業となります。学校行事や宿泊型体験学習は共通のものとして行っています。現在、全学年全クラスにおいて1人1台端末をつかった授業・自宅学習を行っています。本クラスでは学校内使用のノートパソコン(MacBook)も活用し、STEAMの授業を中心に、各種アプリや3Dプリンタ等を使ったものづくり・ことづくりを行う機会が多く設定されています。また、イマージョンは週3時間オールイングリッシュの授業となります。英語“を”学ぶのではなく、英語“で”学び表現する時間となります。通常の英語が週6時間ありますので、9時間が英語に関する授業となります。また、プロジェクトでは、これまで学んできたことの集大成として、自分で研究テーマを設定し、研究・プロジェクト活動を実践していきます。

Q 英語力はどれくらい必要ですか？

英検準2級相当以上の英語力があることを推奨しています。ただ、英検3級相当でも本校の英語教育によって、成績は伸びますので、是非チャレンジしてみてください。

Q 思考力入試はどのような内容ですか？

本校では、2013年度入試より合計12回、中学入試において思考力入試を行ってまいりました。そのノウハウを応用し、高校入試用の問題を作成しています。出題内容はSDGsや世界で起こっている問題について、自分なりに情報収集をし、課題解決・価値創造を文章表現していく入試となります。面接においては、受験生の賜物(才能・タレント)を発見できるように、解答内容について深掘りするために質問させていただきます。

Q 面接で聞かれることはどんなことですか？

本校への志望動機、本校で学習・活動したいこと、中学での印象的だった経験、自分の強みや好きなことなどを総合的に質問します。上記の思考力入試での解答内容についても質問します。

Q 事前相談などは必要ですか？

推薦入試や併願優遇措置を利用される方は、本校の学校説明会へ11月末までに参加していただき、本校担当者と個別相談をしていただくことが望ましいです。事前に学校の成績等をお持ちいただき、本校担当者に確認をとるようにしてください。また、現在通っている中学校の先生に本校の推薦入試や併願優遇措置を利用する旨を必ずお伝えください。8月以降の学校説明会・校内見学会では高校入試事前相談コーナーを設置しますのでご利用ください。

●入試科目について

[思考力]

聖学院では、「社会課題の自分事化」「思考力・表現力・主体性・協働性」が世界の課題解決には不可欠であると考えています。そのために国数理社を中心に教科の総合的な力を評価するための入試「思考力入試」を実施しています。Global Innovation Classで大切にしたい力を「思考力入試」に取り入れています。

特に、右記の点を評価しています。

- 社会課題を自分事としてとらえる力
- 情報を読み取る力、聴き取る力
- 比較・分類する力
- 自分なりに課題を発見・設定する力
- アイデアをたくさん出す力
- 文章として表現する力(作文・プレゼンテーション)

※句読点や誤字は減点しません。

[英語(推薦・一般ともに)]

Global Innovation Classでは世界で活躍する人財の育成を目指しています。授業では、英語6時間と「Immersion」3時間、合計9時間を英語で学びます。したがって、英検準2級程度の英語力が必要となるために、入試問題も英検3級～準2級程度のレベルで設定しています。特に、Readingのテーマに対する自由英作文を課しており、自分の英語で表現する力を大切にしています。

※英作文の細かいミスは減点しません。

システム・操作に関するお問い合わせ先

ミライコンパスサポートセンター

<https://www.mirai-compass.jp.net/nygk/>

Tel 0120-907-867 Tel 03-5877-5952 [24時間受付]

お問合せ対象の ①コード: (0195) 聖学院中学校 ②氏名 を伝えてください。

説明会情報

7月13日(土)	学校説明会・体験会③／レゴキング選手権
7月27日(土)	オンライン学校説明会②
8月24日(土)	学校説明会・体験会④ 高校入試相談あり
9月7日(土)	高校 オンライン学校説明会①
9月14日(土)	学校説明会・体験会⑤ 高校入試相談あり
9月21日(土)	校内見学会①
10月12日(土)	校内見学会②
10月19日(土)	帰国生オンライン入試説明会③
10月26日(土)	学校説明会・体験会⑥ 高校入試相談あり 高校 オンライン学校説明会②
11月9日(土)	校内見学会③
11月13日(水)	オンライン学校説明会③
11月30日(土)	入試対策説明会① 高校入試相談あり
12月21日(土)	入試対策説明会②
1月11日(土)	入試対策説明会③
3月29日(土)	学校説明会・体験会

※開催内容を変更する場合がございます。詳細はホームページをご確認ください。



●access

JR山手線 駒込駅 東口 徒歩5分

東京メトロ南北線 駒込駅 3出口 徒歩7分



聖学院 中学校
高等学校

お問い合わせ先 入試広報部
Tel 03-3917-1121 (代表)
(月～土 9:00～16:30)

<https://www.seigakuin.ed.jp/>
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1
Fax 03-3917-1438

